

第一回委員会のご意見と対応

検討内容とスケジュール(案)

■第1回委員会(平成26年10月22日)

- (1) 海岸保全施設の維持管理に係るこれまでの取り組み状況と検討事項について
- (2) 海岸保全施設の修繕等の事例について
- (3) 修繕等のあり方に関する検討方針について

■第2回委員会(平成27年1月20日)

- (1) 第一回委員会のご意見と対応
- (2) 海岸保全施設の修繕等のあり方について
- (3) 事例集のとりまとめ方法について
- (4) 点検結果の記録・データベースについて

■第3回委員会(平成27年3月3日(予定))

- (1) 委員会のとりまとめ

主な指摘内容と対応

No.	分類	御意見等の概要	御意見への対応(案)
1	修繕の考え方	議論の中で、根本的な対処方法と対処療法的な修繕ケースが出てきたが、マニュアルの中でその判断の考え方を明確にすべき。	資料-3に代表的な変状連鎖の各段階に対応した修繕の考え方(案)を提示する中で、ご指摘の点を反映。
2		海岸保全施設は、数十年かけてゆっくり劣化することの他、地形変化により設計時の前提条件が変わった影響による劣化があり、原因をとらえて対策する必要がある。	
3		補修の効率化には、こまめにやるのではなくて、原因とあった対策を担保することが重要。	
4		修繕を行う際は、再発防止についても考慮するというメッセージが伝わるように。	
5	劣化と修繕の考え方	資料2(p.8)の図は、供用期間中は防護機能を満たすように設計しているが、色々な要因があり劣化が生じてしまった状態を表している。委員会の補修・修繕イメージと合致しているか。	とりまとめに向けて、引き続き改善を検討します。
6		管理者が劣化の原因を遡ってわかるよう、わかりやすい具体イメージ等により勉強する機会を設け巡視等を行うシステムにすると良い。	変状と対策のイメージがつかめるよう、代表的な変状連鎖と変状に応じた修繕の考え方を整理しました。(資料-3)
7	事例集の取りまとめ方法について	参考事例は、根本的な理由の判断材料となる平面的な位置や、施設前面状況の情報を掲載すべき。(平面図から、隣接区間、類似条件の場所での問題が判断できる)	ご意見を踏まえ、資料-4の様式に反映しました。
8		工事の選定理由のほか、工事を行う際の留意事項などを掲載しては。	事例に委員会コメントを付与できるように、資料-4様式を改善しました。
9		事例は失敗した例や反省点等も含めてとりまとめでは。	
10	事例集の取りまとめ方法について	事後保全是、更新も含めた事例集にしては。	今回集まった事例の中で一部更新的な事例も集まっており、追加の事例収集は行いませんが、今後内容充実を図る際にはご指摘も踏まえて対応することとします。
11		「経年劣化が要因となって修繕・改良した事例」、「突発的な作用(台風・地震等)が支配的要因となって修繕・改良した事例」により分類しては。	ご指摘も踏まえ、事例集の索引を作成しました。(資料-4)
12		参考として、修繕・改良時にその後の維持管理の省力化に向けて配慮・工夫した事例をとりまとめでは。	資料-4に案を整理しました。
13	海岸管理者へのメッセージ	必要な補修・修繕、それを補完する対策を促進するためのメッセージを数枚にまとめては。(管理者が使いやすいよう、事例や図などを多く)。	第2回委員会までのご意見も踏まえ、とりまとめ冒頭に記載する内容について、第3回委員会で提示します。
14	管理責任	法律の改正により、維持管理による義務が明確にされたが、マニュアルの位置づけは。	
15	マニュアルを有効に使うための施策	マニュアルに、技術的なことだけでなく、有効に使うためのソフト的な政策(勉強会や訓練、他の地域の視察)を追記しては。	
16	データベース	「海岸管理者がデータを蓄積するインセンティブ」の明確化は、実際にデータベースを構築しており、うまくいっている事例等を参考にすると良い。	データベースを構築した管理者にヒアリングし、資料-6に参考事例を提示しました。
17	その他	曖昧な表現(比較的等)は使わないこと。	とりまとめにあたり留意します。
18		写真を掲載する場合には、誤解の生じないようにすること。	